

# 洋上風力発電の導入促進に向けた環境保全手法の最適化実証等事業



【令和4年度予算（案） 450百万円（新規）】



洋上風力発電に関する情報基盤整備や環境保全の手法の実証を進め、洋上風力発電の導入を促進します。

## 1. 事業目的

- ① 適地の選定が進められている着床式洋上風力発電について、海域特有の環境情報を整備・提供する。
  - ② 2050年CNに向け導入ポテンシャルの大きい洋上風力発電について、その特性を踏まえ、施設の稼働に伴う環境影響をモニタリングし、順応的に管理する手法等を実証することで、環境保全手法を最適化する。
- これらにより環境影響評価等の合理化・迅速化を図り、適正な環境配慮が確保された洋上風力発電の導入を促進することで、脱炭素社会の実現に貢献する。

## 2. 事業内容

脱炭素社会の実現に向けた洋上風力発電の大量導入のためには、環境影響評価法に基づき実施される環境影響評価の合理化・最適化を進め、効率的な手続とする必要があることから、以下の事業を行う。洋上風力に係る環境影響評価の最適化の検討は、国・地方脱炭素実現会議（議長：官房長官、事務局：環境省）において本年6月に決定された基盤的な施策のひとつとして位置付けられている。

**① 洋上の環境情報の調査・提供【委託】**

今後洋上風力発電の導入が見込まれる海域において環境調査を実施し、取りまとめた情報をデータベースから事業者や地方公共団体に提供することで、現在設置が検討されている着床式洋上風力発電における環境影響評価等の合理化・迅速化を図る。

**② 洋上風力発電における順応的管理等実証事業【委託】**

2050年CNに向け導入ポテンシャルが大きい洋上風力発電について、環境影響の把握・予測が難しいという課題がある。事業者による適正な環境配慮を確保しつつ、円滑な洋上風力発電の導入を実現するため、海外事例も参考にしつつ、洋上風力発電の特性を踏まえた環境保全措置の考え方として、稼働に伴う環境影響を継続的に把握し、低減できる手法（順応的管理）等を実証することで、環境保全手法を最適化する。

## 3. 事業スキーム

- 事業形態 委託事業
- 委託先 民間事業者・団体
- 実施期間 ①令和4年度～令和6年度 ②令和4年度～令和5年度

## 4. 事業イメージ



お問合せ先： 環境省 大臣官房 環境影響評価課 電話：03-5521-8235

# 洋上風力発電に係る環境アセスメント情報収集のための対象海域の 公募選定結果について

令和4年1月7日(金)

環境省では、このたび、着床式洋上風力発電における環境影響評価等の合理化を図り、導入を促進することを目的として調査を実施する海域を選定しましたので、お知らせします。

## 1. 概要

我が国では、2050年カーボンニュートラルの実現とともに、2030年度の温室効果ガス排出量を2013年度比で46%削減することとされており、削減目標の実現に向けて、再生可能エネルギーの最大限の活用が求められている。再生可能エネルギーの最大限の活用に向けては、導入ポテンシャルの高い洋上風力発電の導入を促進することが重要です。

そこで環境省では、令和4年度から、今後導入が見込まれる海域において環境影響評価手続における準備書の作成に必要な調査として、文献調査、ヒアリング調査、現地調査(希少猛禽類、渡り鳥、一般鳥類、生態系(重要な自然環境のまとまりの場合)、海生生物等を想定。配置計画等が不明な段階であるため、騒音、景観等の現地調査は除く。)を実施し、取りまとめた情報をデータベースから事業者や地方公共団体に提供することで、現在設置が検討されている着床式洋上風力発電における環境影響評価等の合理化を図り、導入を促進することを目的として、情報収集を実施する海域の公募を行いました。

審査した結果、下記の海域を実施海域として選定しました。

なお、この公募は、令和4年度予算の成立等を前提に手続を行っています。

## 2. 公募期間

令和3年11月16日(火) ~ 同年12月20日(月)

## 3. 選定海域

応募者	海域
山形県	山形県遊佐町沖

環境省大臣官房環境影響評価課  
代 表 03-3581-3351  
直 通 03-5521-8236  
課 長 西村 学 (内 6230)  
課長補佐 豊村紳一郎 (内 6233)  
課長補佐 會田 義明 (内 6235)  
担 当 河田 悠 (内 7245)